

近畿地域の価値・ポテンシャル：

大阪・関西万博のレガシーを新たな産業の核に

空モビリティ・宇宙

万博会場中に、世界で初めて長期間に渡り複数機体による次世代空モビリティのデモフライトや宇宙関連の展示等を実施

↓デモフライトの様子



↑ロケット発射の様子

+

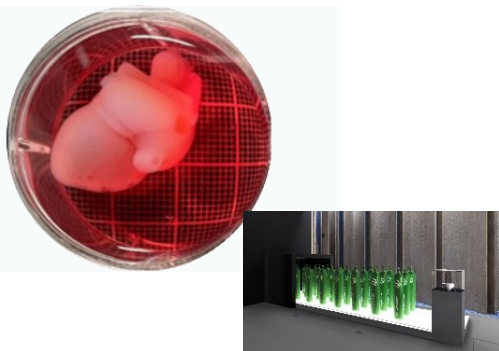
Osaka Metroが空飛ぶクルマ専用の離着陸場「大阪港バーティポート」を整備・運営

民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」を中心に宇宙産業集積の動きあり

バイオ・ライフサイエンス

万博会場内においてiPS心臓、生分解性バイオプラスチック等の再生医療・バイオものづくり関連技術を展示

万博における展示



(左) iPS心臓
(右) 「二酸化炭素を食べる細菌」が作った生分解性プラスチック

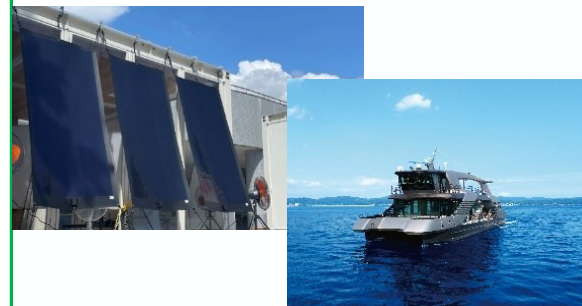
+

京都大学iPS細胞研究所、大阪・中之島クロス、神戸医療産業都市等、産学官医の拠点が複数構築

GX

万博会場中に、水素燃料電池船の旅客運航、ペロブスカイトの搭載等、GX関連技術を世界に発信

↓ペロブスカイト太陽電池



↑水素燃料電池船「まほろば」

+

既存の重化学工業等の集積を背景に、GXの中核分野で主要な民間プレーヤーが複数存在

近畿地域の戦略産業クラスター計画素案の検討状況

空モビリティ関連産業クラスター

■投資（記載は一例）

- ・ Osaka Metroは、高架式バーティポートを大阪市（森之宮）の地下鉄新駅・駅ビル開発において建設し、2028年度以降に運用（稼働）開始予定
- ・ 兼松(株)が大阪府域にバーティハブを整備し、2030年度以降に運用開始予定

■クラスター形成に向けた主な課題

バーティポート・充電設備等の整備、機体安全基準等の制度整備

宇宙関連産業クラスター

■投資（記載は一例）

- ・ スペースワン(株)が和歌山県串本町・那智勝浦町で、ロケット打上げ射点等の増強を計画中

■クラスター形成に向けた主な課題

打上げの高頻度化に向けた投資・制度整備、サプライチェーンの国内整備等

バイオ関連産業クラスター

■投資（記載は一例）

- ・ 神戸大学「バイオものづくり研究棟」、日揮HD「バイオプロセス研究所研究棟1棟目（JBX1）」、大和ハウス工業「DP-Lab KOBE」、三菱商事・三菱商事都市開発・アイパークインスティテュート「アイパーク神戸（仮称）」が神戸市に立地・立地予定（2025~2027年）
- ・ ライフサイエンス系スタートアップの創出等イノベーション拠点「O-Nexus」が大阪市（中之島クロス）に立地予定（2026年）

■クラスター形成に向けた主な課題

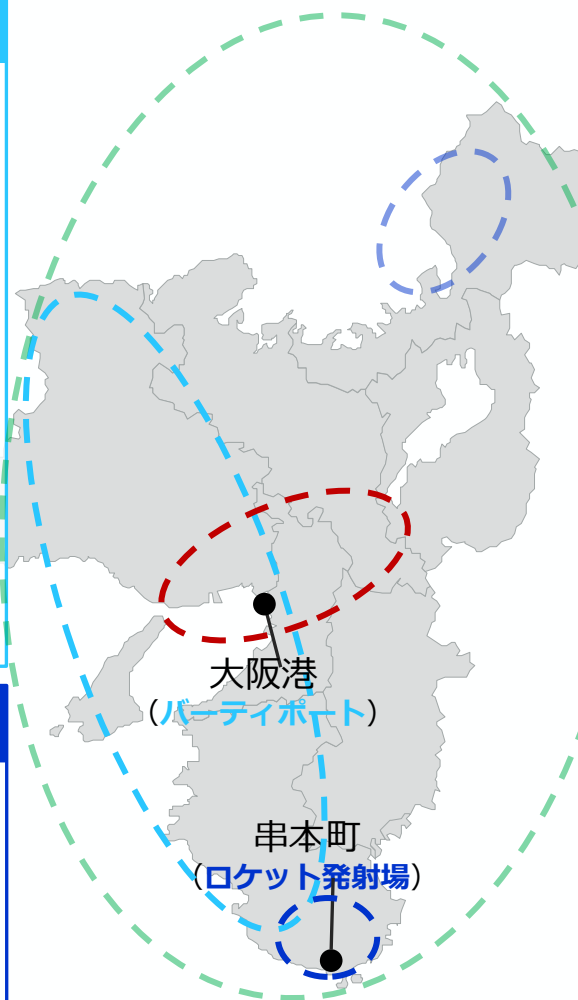
量産化への共同利用型実証拠点整備、リスクマネーの供給

GX関連産業クラスター

■クラスター形成に向けた主な課題

既存アセットの活用促進、インフラ整備・拡充、整備に係る規制改革

その他、半導体関連産業、蓄電池関連産業においては、関西に一定のポテンシャル・集積があり、今後議論の深化を検討中。



■ 共通の課題 専門人材の育成・確保、中堅・中小・SU等のイノベーション創出